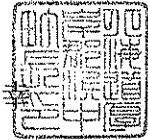




浜 企 振
平成19年4月26日

国土交通省道路局長 様

浜中町長 長谷川 徳 幸



中期的な計画の作成にあたっての意見提出について

平成19年4月2日付、国道企第114号をもって依頼のありましたこのことについて、別紙のとおり提出しますのでよろしくお取り計らい願います。

(企画財政課企画振興係)

中期的な計画の作成にあたっての意見

今後の道路政策や道路の整備・管理について

(1) 釧路、根室間国道44号の規格の高い道路整備について

国道44号線は都市間を結ぶ道路として、又、周辺町村の基幹道路として生活・産業活動・観光面で利用されておりますが、カーブが多く幅員も狭隘で高速輸送路としての機能に難があり、一刻を争う急病者の都市中核病院への救急搬送及び生鮮製品の輸送時における品質低下の問題が懸念され、地域の生活・産業の振興発展にも早期の道路整備で食料基地北海道の役割を高めてゆかなければなりません。

酪農と漁業の一次産業の当町では、牛乳の出荷はもちろん、肥料・飼料、酪農大型機械や昆布・魚介類など相当量の物量が行き来しているため、早期の整備実現を望みます。

(2) 釧根地域のトライアングルロードの整備促進について

釧路・根室・中標津間の骨格幹線道路の高規格整備は高速性や定期性のみならず、空港を利用する多くの観光客が知床や釧路湿原の国立公園ばかりでなく、国定や道立自然公園の周辺町村に訪れる機会の拡大にもつながります。当町の振興発展には、農・漁業の一次産業とあわせ観光産業の振興は重要な柱であり、観光拠点の移動時間の短縮が図られる釧根トライアングル構想の早期実現を強く要望します。

- ・北海道横断自動車道（釧路から根室間）
- ・地域高規格道路（釧路、中標津道路）
- ・地域高規格道路（根室、中標津道路）

(3) 防災・減災につながる既設道路の整備について

当町は日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震防災対策推進地域に指定されており、海から開けた浜中町霧多布一帯は過去二度の大きな津波災害（昭和27年3月十勝沖地震、昭和35年5月チリ沖地震）に遭った地区で、地震の発生に伴う津波災害の軽減を図ることが重要であります。

津波警報発表時、霧多布市街地住民車両の高台への避難路は一路線のみで生活・生産・観光などの幹線道路でもあります。片側一車線のため避難する車両は登坂地点で集中渋滞し防災・減災機能の道路としては、著しく機能に欠けていますので車線の複線化や耐震化などの対策が急務

であり、地震・津波など災害に強い道路の整備を望むものであります。

(4) 道路特定財源について

これまで整備されてきた道路の維持管理は使命がある限り永遠に続くもので、一方、地域生活の充実や地域産業が発展するためには、高速道路が整備されている他地域に遅れることなく高機能化により地域の競争力が求められていますので、多面的な道路整備に道路特定財源を活用して欲しいと望んでおります。

浜 中 町